

【診療の補助内容】

人工呼吸器からの離脱 (2) 自発呼吸トライアル (SBT)

吸入酸素濃度 50%以下の設定で T ピース又は CPAP ≤ 5 cm H₂O (PS ≤ 5 cm H₂O) 30 分間継続し、以下の基準で評価する (120 分以上) は継続しない。

【特定行為を行うときに確認すべき事項】
(自発トライアルの成功基準)

- ☐ 呼吸数 < 30 回/分
- ☐ 開始前と比べて明らかな低下がない
- ☐ (SpO₂ $\geq 94\%$ 、PaO₂ ≥ 70 mmHg)
- ☐ 心拍数 < 140bpm、新たな不整脈や心筋虚血の兆候を認めない
- ☐ 過度の血圧上昇を認めない
- ☐ 以下の呼吸窮迫兆候を認めない (SBT 前と比較)
 1. 呼吸補助筋の過剰な使用
 2. シーソー呼吸 (奇異性呼吸)
 3. 冷汗
 4. 重度の呼吸困難感、不安感、不穏状態

→ SBT 成功の場合、担当医師に患者の状態を報告し、抜管を検討する。

主治医へ直接連絡し、
指示を受ける

1 項目でも ☐ あり

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

主治医もしくは当該科の医師へ報告

【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 主治医もしくは当該科の医師へ報告
2. 診療記録への記載